事業シート（令和9年度予算）

事業名	21700　地籍調査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント				
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2631		項	1	総務管理費		分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	
					目	18	地籍調査費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争の未然防止に資する。	概要	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）にまとめる ・調査の成果（地籍図、地籍簿）を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第１４条の地図整備を行う

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
地籍調査実施面積	23,171ha		24,881ha

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		161,005	124,349	161,005			
特定財源	国費（　）						
	県費（ 地籍調査事業費 3/4 ）	120,000	93,099	120,000			
	その他（　）						
一般財源		41,005	31,250	41,005			

新規・拡充	主な事業内容						
	測量等委託	160,000	123,558	160,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 / 市長査定額	161,000 / 増減 (d)-(c)
130,975			△ 30,030
97,500			△ 22,500
33,475			△ 7,530

要求額	説明
130,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・地籍調査事業量（換算面積）　4.84k㎡　※1k㎡ ＝ 100ha （高山地域　0.66k㎡　丹生川地域　0.56k㎡　清見地域　0.59k㎡　荘川地域　0.33k㎡ 久々野地域　0.60k㎡　朝日地域　0.27k㎡　高根地域　0.65k㎡　国府地域　0.71k㎡ 上宝地域　0.47k㎡）	
評価等	・着実な事業実施に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・第7次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	21810　森林づくり交流推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー	市長公約	
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2632		目	19	環境政策費			施策分野	(1)	森林政策		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・幼児期から大人まで世代に応じた木育・森林環境教育により、森林に対し責任ある行動をとることができる人づくりをすすめる。 ・都市部自治体との連携拡大により、森林整備によるカーボンオフセットや木材利用、普及啓発など、地球温暖化対策に資する森林づくりをすすめる。 ・森林環境譲与税の活用により、森林の有する公益的機能に関する普及啓発を図る。	概要	・保育園や幼稚園、小中学校等への出前授業による森林環境教育の推進 ・ひだ木遊館（西之一色町）を拠点とした全市域での木育イベント等の開催 ・千代田区と高山市民の交流による森林理解の醸成 ・他の都市部自治体や企業との連携による森林づくりの拡大

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
ひだ木遊館入館者数（累計）	16,393人		55,000人
「身の回りに木や森林に親しむ環境が整っている」と感じている市民の割合	65.7%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		33,470	30,981	33,670			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　森林づくり交流推進事業費　10/10、1/2　）	6,700	6,935	7,200			
	その他（　カーボン・オフセット事業費（千代田区）　）	2,250	1,569	2,150			
一般財源		24,520	22,477	24,320			
新規・拡充	主な事業内容						
	千代田区との連携協定による交流事業の開催	4,000	3,618	4,000			
	木育・森林環境教育の推進	8,000	7,950	10,200			
	ひだ木遊館を拠点に実施する木育推進事業への支援	15,000	15,000	15,000			
	千代田区との協定による森づくり（カーボンオフセット）	6,000	3,996	4,100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	33,500 増減 (d)-(c)
28,770			△ 4,900
5,000			△ 2,200
2,480			330
21,290			△ 3,030

要求額	説明
4,800	高山市林業体験ツアー等
8,500	
15,000	ぎふ木遊館サテライト施設を拠点とした木育活動支援
	ちよだ・たかやまの森の間伐一巡に伴う実施地の見直し

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備（間伐　11.24ha） ・千代田区連携イベントの開催 8/3　ちよだ・たかやまの森交流ツアー（一之宮町）　千代田区民25人、高山市民21人参加 11/8　ちよだ環境フェアでの木育ワークショップの実施（千代田区）　ブース来場者約200人 ・木育ワークショップ等による木育・森林環境教育の推進　木育イベント　18回　401人参加 ・ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育活動への支援（R7入館者数　11,038人）	
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、生育状況を考慮した適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進めることができた。 ・千代田区連携交流事業では、高山市民と千代田区民の交流とともに、林業や木工体験により森林づくりの理解醸成が図られた。 ・ひだ木遊館木っずテラスを拠点に木育活動の推進を図ることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・千代田区との連携協定に基づき、森林整備や交流の活性化を図り、脱炭素社会の実現を目指す。 ・既に交流のある自治体との連携を促進する。 ・ぎふ木遊館サテライト施設を拠点とした、木育・森林環境教育を推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53100　林道管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2234		項	3	林業費		分野別	政策分野	5	産業労働プロモーション	市長公約	
					目	1	林業総務費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕・機能強化を行う。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000㎥

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		65,650	65,302	75,350			
特定財源	国費（　）						
	県費（県移譲事務交付金）	394	202	202			
	その他（敷地占用料）	300	440	300			
一般財源		64,956	64,660	74,848			
新規・拡充	主な事業内容						
	林道の修繕工事	56,600	56,542	64,200			
	林道の維持管理	8,400	8,156	10,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			65,700
76,650			1,300
202			0
309			9
76,139			1,291
要求額	説明		
65,000			
11,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・林道修繕工事　29件 ・林道機能強化　17件 ・林道管理委託　38件	
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53200　市有林整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
					項	3	林業費		分野別	政策分野	5	産業労働プロモーション	市長公約	
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2233		目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・市有林を適正に管理するため、森林経営計画に基づき、間伐等の施業を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術の向上を図る。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000㎥

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		11,330	9,416	20,560			
特定財源	国費（　）						
	県費（ 市有林整備事業費 10/10 ）	2,000	1,870	8,780			
	その他（ 物品売払収入（Gクレ販売）、市有林整備事業雑入 ）	100	2,354	2,270			
一般財源		9,230	5,192	9,510			
新規・拡充	主な事業内容						
	市有林の整備工事	6,800	5,500	14,300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	11,300 増減 (d)-(c)
13,210			△ 7,350
2,932			△ 5,848
2,596			326
7,682			△ 1,828

要求額	説明
7,140	保育間伐ほか

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・間伐　6.73ha（高根） ・下刈　3.79ha（国府） ・作業道修繕　2件	
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・市有林の適正な管理方法について、林業事業体等への長期委託を進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53210　緑の保全事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2235		項	3	林業費		分野別	政策分野	5	産業労働プロモーション	市長公約	
					目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や木材利用の促進、災害に強い森林づくりを促進する。	概要	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げして助成 ・国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施業に対して、市単独事業により助成

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000㎥

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		36,750	25,114	36,650			
特定財源	国費（　緑の保全事業費　1/2　）	1,600	1,600	1,600			
	県費（　緑の保全事業費　1/2　）	5,550	1,190	4,850			
	その他（　緑の基金収入、緑の基金繰入金　）	48	48	2,630			
一般財源		29,552	22,276	27,570			
新規・拡充	主な事業内容						
○	間伐に対する助成	18,000	14,817	19,000			
	自伐林家型の森林整備に対する助成	4,000	1,010	2,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			36,800
54,000			17,350
1,600			0
8,150			3,300
			△ 2,630
44,250			16,680

要求額	説明
30,600	
1,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・間伐事業　194.78ha ・間伐作業道開設事業　5,876m ・軽作業道開設事業　2,000m ・自伐林家型地域森林整備事業　4.80ha ・人工造林　22.56ha ・下刈　45.85ha ・森林整備地域活動支援事業　23.23ha（森林経営計画の作成促進） ※間伐材利用促進事業、未利用資源活用促進事業（集運型）は、53265 市産材利用推進事業費へ移行	
評価等	・作業道を高密度に開設し、作業の効率化、間伐材の搬出、利用促進が図られた。 ・森林整備地域活動支援事業により支援することで森林経営計画の作成が促進された。	
次年度以降の考え方（担当課）	・緑の保全事業を継続し、森林経営計画による森林整備を促進する。 ・人工造林（植栽）施業を促進し、森林の公益的機能の向上及び脱炭素化を推進する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・間伐に対する助成の拡充に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53230　林業担い手育成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	森林整備計画、高山市移住定住戦略、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える未来の担い手づくり		
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2631		項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 農林畜産業を守り、育みます
					目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・林業等の担い手の確保・育成を図る。	概要	・移住者や県立森林文化アカデミー学生への市内就業支援による担い手の確保 ・林業や製材現場の見学などのインターンシップ支援事業の実施による就業希望者と市内事業者とのマッチングの創出

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
森林技術者数	未確定		185人
「地域産業が受け継がれるための人材確保・後継者育成が進んでいる」と感じている市民の割合	20.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		6,498	5,536	6,198			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 林業就業移住支援事業費 3/4 ）	1,500	900	1,500			
	その他（　　）						
一般財源		4,998	4,636	4,698			

新規・拡充	主な事業内容						
	森林技術者の育成確保	248	248	248			
	林業就業の促進	250	226	250			
	林業担い手学生支援事業	1,500	1,500	1,000			
	森の担い手マッチング事業	2,500	2,362	2,700			
○	森林管理の技術習得に対する助成						
	林業就業移住支援事業	2,000	1,200	2,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	6,500 増減 (d)-(c)
4,718			△ 1,480
			△ 1,500
4,718			20

要求額	説明
248	県林業労働力確保支援センター負担金
210	森林就業ガイダンス
1,000	県立森林アカデミー学生に対する助成
2,700	
560	
	R8事業終了

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・高山市での就業・起業意欲のある岐阜県立森林文化アカデミーの学生3名に対し、修学に必要な経費を補助した。 ・県外から高山市に移住し、林業事業体に就業した移住者2名に支援を行った。（単身） ・市内木材関連事業所を見学する森の担い手マッチング事業 第1回　5/1～5/2　　6名参加 第2回　12/6～12/7　12名参加 ・岐阜県立森林文化アカデミー見学　11/9　28名参加	
評価等	・市内で不足する森林技術者等の確保に効果があった。	
次年度以降の考え方（担当課）	・移住による林業就業への支援や、岐阜県立森林文化アカデミーの学生への修学支援、地元企業とのマッチングなどにより市内の林業技術者を含む森の担い手の確保を図る。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・森林管理の技術習得に対する助成に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53240　林道整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
					項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2234		目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・旧緑資源幹線林道（大規模林道）の建設促進を図る。 ・林道の早期完成を図る。 ・林道改良の推進を図る。	概要	・林道宮・高山線の整備にかかる負担金を支出する。 ・国県林道事業を活用し、林道の改良を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000㎥

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		141,522	104,082	41,833			
特定財源	国費（　）						
	県費（　林道改良事業費　1/2、6/10、2/3　）	80,600	58,420	21,200			
	その他（　地方債　）	28,000	30,000				
一般財源		32,922	15,662	20,633			
新規・拡充	主な事業内容						
	林道橋りょう点検	5,200	3,553	4,200			
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金	6,500	1,953	5,500			
	林道改良工事費	119,000	95,340	20,000			
	大規模林道賦課金元利補給金	411	410	333			
	測量等委託費	8,000	380	9,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 65,800 増減 (d)-(c)
36,941			△ 4,892
4,320			△ 16,880
32,621			11,988

要求額	説明
7,200	
5,000	
20,000	
171	
1,800	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・林道宮・高山線整備済延長　10,214m ・宮・高山線事業負担金の支払い　（県事業費の5%） ・受益者組合への補助金交付　1組合 ・林道改良工事の実施　ダナ線（イワス橋）　L=47.4m ・林道橋りょう点検　7橋	
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。 ・林道の改良により、森林の整備及び通行の安全を確保することができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・林道宮・高山線については、引き続き、県の代行事業による林道開設を進める。 ・安全な通行を確保するため、引き続き、計画的に林道改良や橋りょう点検等を行う。 ・林道橋の補修を行い長寿命化を進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53250　生活環境保全林管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2632		項	3	林業費		分野別	政策分野	4	森林・環境・エネルギー	市長公約	
					目	2	林業振興費			施策分野	(1)	森林政策		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・保健・保全機能の発揮される森林の整備をするとともに、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。	概要	・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 ・生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「身の回りに木や森林に親しむ環境が整っている」と感じている市民の割合	65.7%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		16,466	15,346	19,184			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 生活環境保全林整備事業費 1/2、10/10 ）	2,850	2,731	3,350			
	その他（ 生活環境保全林等使用料、生活環境保全林施設使用雑入 ）	2,753	2,690	2,715			
一般財源		10,863	9,925	13,119			
新規・拡充	主な事業内容						
	施設の維持管理	9,466	8,596	9,784			
	施設の修繕	7,000	6,750	9,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	16,500 増減 (d)-(c)
16,753			△ 2,431
2,635			△ 715
2,706			△ 9
11,412			△ 1,707
要求額	説明		
9,483			
7,270			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・生活環境保全林の利用者数　117，698人 ・遊歩道等施設のある生活環境保全林（清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所）について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。	
評価等	・遊歩道の管理や施設の修繕等適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場を提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 ・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・遊歩道等の適切な維持管理を行う。 ・計画的な施設の修繕を行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53260　100年先の森林づくり推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2631		項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	
					目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市内の森林を、森林環境譲与税を活用し、将来目標とする4つの姿（木材生産林、環境保全林、観光景観林、生活環境林）にあわせた森林整備を実施し、水源林の保全や災害に強い森林づくりなどの森林の有する公益的機能増進を図る。	概要	・森林推定地番図の作成により森林所有者等の特定を図り、個人所有の森林整備を加速化 ・広葉樹材生産に向けた皆伐後の天然更新の状況や市有林の広葉樹等の資源量を把握 ・スマート林業の推進による生産性の向上を図る ・森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路の改良に係る経費に対する補助

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000㎥

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		109,740	90,746	121,250			
特定財源	国費（　）						
	県費（ 森林整備地域活動支援事業費 23/100 ）	2,200	1,167	2,700			
	その他（ 物品売払収入（広葉樹材） ）			2,790			
一般財源		107,540	89,579	115,760			
新規・拡充	主な事業内容						
	森林経営管理アドバイザー等の配置	30,640	28,085	30,640			
	森林情報管理システム構築、森林境界明確化の推進	22,000	19,180	42,470			
	森林資源等調査及び森林整備の推進	34,000	25,507	21,500			
	スマート林業の推進	3,000	1,841	3,000			
	作業道の修繕等に対する支援	20,000	16,034	16,000			
	広葉樹の活用促進事業			7,340			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 109,800 増減 (d)-(c)
101,970			△ 19,280
82			△ 2,618
			△ 2,790
101,888			△ 13,872

要求額	説明
30,640	
30,330	
17,700	重点区域等森林整備ほか
4,000	スマート林業推進事業補助金
18,000	森林作業道維持修繕事業補助金
1,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・森林経営管理アドバイザー等の配置　3名 ・森林推定地番図の作成　234ha ・市有林広葉樹資源量調査　5ha ・船山山頂眺望環境測量調査　0.4ha ・重点区域森林整備事業　14.98ha ・森林作業道維持修繕事業補助金　19件 ・スマート林業推進事業補助金　3件	
評価等	・森林境界調査や森林推定地番図作成により森林所有者の特定や境界の確認が進んだ。 ・森林経営管理アドバイザーの助言指導により森林所有者の林業経営や森林管理への意欲向上が図られた。 ・市有林における広葉樹の資源量把握により次年度の伐採モデル事業地を決定した。 ・船山山頂眺望環境測量により山頂広場の区域を確定した。 ・重点区域森林整備事業などにより災害に強い森林づくりを推進した。 ・ICT機器の導入や高性能林業機械等の貸出支援などによりスマート林業の促進が図られた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・森林整備や作業道等路網整備など、災害に強い森林づくりを行う。 ・県の支援が受けられない事業体に対し、高性能林業機械やICT機器の導入支援を行うことによるスマート林業を促進する。 ・広葉樹活用促進モデル事業を実施し、広葉樹材の市場価格や需要を調査する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53265　市産材利用推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
					項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 農林畜産業を守り、育みます
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2631		目	2	林業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市産材（広葉樹材を含む）の利用拡大を推進する。	概要	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する補助 ・林地残材となっている未利用材の搬出経費への支援（委託、補助） ・県産直住宅協会への負担金 ・広葉樹の利用拡大を目的とした関係者研修会への共催負担金

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
市産材使用量	769m3/年		1,500㎥/年
「地元の農産物や木材が広く消費され、農畜産や林業が活性化している」と感じている市民の割合	52.9%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		66,050	48,106	61,510			
特定財源	国費（　）						
	県費（ 市産材利用推進事業費 1/2 ）	1,500	1,264	1,500			
	その他（　）						
一般財源		64,550	46,842	60,010			

新規・拡充	主な事業内容	R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
○	匠の家づくりに対する助成	29,700	14,949	25,000			
	みなと森と水ネットワーク会議負担金	50	50	50			
○	広葉樹材利用の推進	300	300	300			
	未利用間伐材の搬出促進	2,800	2,171	2,800			
	未利用資源活用に対する助成	21,000	18,672	21,000			
	間伐材利用に対する助成	12,000	11,803	12,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	66,100 増減 (d)-(c)
64,410			2,900
1,200			△ 300
63,210			3,200

要求額	説明
30,000	
50	
4,800	
2,800	
16,400	
10,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業補助金　（建築主市内建築型）49棟（市外建築型）6棟 ・未利用間伐材の搬出促進　240t ・間伐材利用促進事業　7,870㎥ ・未利用資源活用促進事業（集運型）　8,074㎥ ・未利用資源活用促進事業（買取型）　843㎥	
評価等	・匠の家づくり支援事業により、木造建築物への市産材の活用につながった。 ・未利用資源活用促進事業により、林地残材のエネルギー活用、災害を防ぐ山づくりにつながった。	
次年度以降の考え方（担当課）	・匠の家づくり支援事業については、市内及び中京圏を中心に市産材の利用拡大を促進する。 ・未利用資源活用促進事業については、事業量の維持に努める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・匠の家づくりに対する助成の拡充に必要な経費を計上 ・広葉樹の利用促進に必要な経費を計上

財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	53300　分収造林整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
					款	5	農林水産業費			ポイント				
					項	3	林業費		分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	森林・環境政策部　森林政策課	内線	2233		目	3	分収造林費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐等の施業を実施する。

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
木材生産量	算定中		150,000㎥

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		60,176	47,675	93,846			
特定財源	国費（　　）						
	県費（ 分収造林整備事業費 80/100、85/100、10/10 ）	26,800	24,588	34,500			
	その他（ カーボン・オフセット事業費（千代田区）、物品売払収入（分収林） 等 ）	27,500	22,244	58,900			
一般財源		5,876	843	446			
新規・拡充	主な事業内容						
	分収造林の整備	50,261	38,875	76,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 / 市長査定額	60,200 / 増減 (d)-(c)
105,576			11,730
48,100			13,600
51,800			△ 7,100
5,676			5,230
要求額	説明		
87,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・保育間伐　20.51ha（一之宮地域,清見地域） ・搬出間伐　17.81ha（荘川地域） ・路網整備　974m（荘川地域）	
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施業を実施することができた。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構（旧森林開発公団）又は県等と、分収造林地の効率的な管理を行うため、森林整備も含めた管理委託について、協議・調整を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・国等の補助制度を有効活用し、必要な施業を継続的に実施する。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構（旧森林開発公団）分収造林地の管理について、分収林契約を見直し、管理業務の委託化をすすめる。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	